

けものフレンズ 厳しい時代(改良版)

レモン酒と寒冷的な概念

【注意事項】

このPDFファイルは「ハーメルン」で掲載中の作品を自動的にPDF化したものです。

小説の作者、「ハーメルン」の運営者に無断でPDFファイル及び作品を引用の範囲を超える形で転載・改変・再配布・販売することを禁じます。

【あらすじ】

・けものフレンズ 厳しい時代・の改良版です。

目次

38

ジャパリパークの前の世界の年表

1

プロローグと紹介 | 7

第一話 運命の開戦 我、ハワイ諸島

ノ米艦隊及ビ蘭印ノオランダ艦隊ヲ撃滅

セリ | 11

第二話 ビルマ戦線 | 16

第三話 帝都初空襲 | 20

第四話 アムール作戦 | 24

第五話 第二次冬戦争 | 28

第六話 ジブラルタル航空戦 | 33

第七話 ウラル山脈へ進撃せよ。

英国本土上陸作戦 前編 | 43

英国本土上陸作戦 後編 | 48

ジャパリパーク宇宙軍の活躍 | 52

南アメリカ侵攻作戦 | 56

アメリカ本土に侵攻せよ。 | 59

予想外の出来事 | 63

戦後処理 | 68

ジャパリパークの前の世界の年表

1887年1月13日 イギリス軍がサンドスター諸島に侵攻。南洋戦争。

1887年1月25日 イギリス軍がサンドスター諸島全域を占領。イギリス領太平洋諸島を成立させ、サンドスター諸島を植民地化。

1887年1月27日 オランダがイギリス領太平洋諸島を攻撃。第二次南洋戦争。

1887年5月5日 イギリス軍がオランダ領東インド全域を占領。オランダ降伏。第二次ウエストミンスター条約が締結される。イギリスはオランダ領東インドをオランダから奪い、イギリス領太平洋諸島に統合。イギリス領東シナ諸島を成立させる。

1889年2月11日 日本で大日本帝国憲法が発布される。

1894年7月25日 日清戦争。サンドスター諸島ではどさくさに紛れて、フレンズが一斉に蜂起。総督府を攻め落とし、総督を惨殺。イギリスからの独立を宣言。ジャパリパーク連邦を成立させる。

1894年7月26日 ジャパリパーク連邦軍が撤退の遅れたイギリス兵を捕縛し、殺害。

1910年7月1日 ジャパリパーク連邦が大日本帝国と日蛇同盟を締結。

1914年7月28日 第一次世界大戦。大日本帝国が日英同盟を理由に連合国側で参戦。ジャパリパーク連邦も日蛇同盟を理由に連合国側で参戦。

1915年1月1日 ジャパリパーク海軍、大日本帝国海軍とともに地中海に出動。

1915年1月2日 ジャパリパーク陸軍が青島に上陸。

1915年1月3日 大日本帝国陸軍が遅れて、青島に侵攻。

1915年1月13日 青島のドイツ軍が全軍降伏。

1917年3月8日 ロシア革命が発生。

1918年10月5日 ドイツ帝国、オスマン帝国が降伏。第一次世界大戦終戦。

1919年2月1日 オーストリアハンガリー帝国軍がイタリア軍の防衛ラインを突破。イタリア半島に侵入。

1919年2月11日 イタリアで社会主義革命が発生。イタリア革命。イタリア社会主義共和国が建国され、オーストリアハンガリー帝国と講和を行い、イタリア北部をオーストリアハンガリー帝国に割譲。イタリア王国はリビアに亡命。

1919年2月13日 オーストリアハンガリー帝国軍、アルプス山脈を越え、フランス領内に侵攻。フランスイギリス連合軍を破る。

1919年2月14日 オーストリアハンガリー帝国軍、パリを占領。フランス降伏。

1919年2月15日 オーストリア＝ハンガリー帝国軍がイタリアから割譲したリビアからエジプトに侵攻。

1919年3月2日 オーストリア＝ハンガリー帝国軍とイギリス軍がエルアラメインで衝突。エルアラメイン会戦。オーストリア＝ハンガリー帝国軍の勝利。

1919年3月13日 オーストリア＝ハンガリー帝国軍、中東大攻勢及びバルカン大攻勢を開始。

1919年3月15日 オーストリア＝ハンガリー帝国軍が仏領シリアを攻撃するが、イギリス軍と日本軍の反撃に遭い、失敗。戦線は膠着状態に。

1920年10月10日 ロシア革命が再び発生。ソビエト社会主義共和国連邦が成立。オーストリア＝ハンガリー帝国と単独講和を結ぶ。

1920年10月13日 イギリスがオーストリア＝ハンガリー帝国と講和。ウイーン条約が締結され、第一次世界大戦が終結。

1920年10月14日 オーストリア＝ハンガリー領インド帝国、オーストリア＝ハンガリー領リビアが成立。

1920年10月15日 オーストリア＝ハンガリー領東インドとオーストリア＝ハンガリー領インドシナが成立。

1920年10月16日 オーストリア＝ハンガリー領ニューファンランドが成

立。

1921年1月14日 ウィーン海軍軍縮条約が締結される。日本、ドイツ、ジャパ
リパークが批准。

1921年1月15日 ドイツでナチスが11議席を獲得。

それから、色々あり・

1929年10月29日 ウィーン証券取引所で株価が大暴落。ブラックマンデー。

1930年10月30日 ブラックマンデーが日本に直撃。昭和恐慌。

1933年1月30日 ドイツでナチスが政権を握る。

1933年1月31日 第二次アメリカ内戦が発生。ファシズムを掲げるアメリカ
連合国、サンディカリズムを掲げるアメリカ社会主義共和国連邦、民主主義を掲げるア
メリカ合衆国に別れる。

1933年5月5日 アメリカ連合国軍とアメリカ合衆国軍とアメリカ社会主義共
和国連邦軍がゲティスバーグで衝突。ゲティスバーグの戦い。アメリカ合衆国軍が勝
利。

1933年5月6日 日本での軍部のクーデターが失敗。反乱軍の将校を処刑。以
降、厳格な立憲君主制に。5月6日事件。以降、日本は民主主義最後の砦と言われるこ
とに。(えっ、民主主義最後の砦はアメリカだって？ 知らんな。)

1933年5月10日 大日本帝国政府が張作霖を支援し、満州共和国を建国。
 1933年5月11日 ハワイが内戦のどさくさに紛れて、独立。ハワイ王国を復活させる。

1933年5月13日 ハワイ王国が日本と同盟を結ぶ。日布同盟。
 1933年5月14日 大日本帝国海軍、将来的なオーストリアⅡハンガリー帝国との戦争に備えて、駆逐艦5隻を建造。

1933年5月15日 ジャパリパーク海軍が潜水艦2隻を新たに建造。

1933年5月16日 フランスでサンディカリズム革命が起きる。フランスコミューンが成立。

1933年5月23日 ドイツでナチスが113議席を獲得。

1933年5月24日 イタリア海軍、戦艦16隻を新たに建造。

1933年5月25日 大日本帝国海軍欧州艦隊、リスボンを訪問。

1933年5月27日 ジャパリパーク空軍、戦闘機500機を新たに製造。

1933年11月14日 フランス海軍、戦艦16隻を新たに建造。

1933年11月15日 日英同盟改訂。第四次日英同盟条約、通称・日英防共協定が締結される。

1933年12月13日 第二次アメリカ内戦がアメリカ合衆国の勝利で終わる。

1934年12月14日 イギリスの数学者が将来的にドイツと戦争になる可能性を指摘。米国を同盟に加える必要性があるとイギリス政府に報告する。

1935年1月13日 フランクリン・ルーズベルト大統領が来日。第五次日英同盟条約・日米英三国防共協定・が締結される。

1935年1月14日 ドイツでナチスが第一党となる。

1935年1月15日 ヒトラーがスターリンと会談。独ソ秘密同盟を締結。表向きはソ連との不可侵条約とされた。これにより、フランスは孤立。

1935年1月16日 ソ連極東方面軍が独断で満州に侵攻。満州戦争。ソ連政府がソ連極東方面軍の将校を処刑。講和条約・第二次ポーツマス条約・が締結され、ソ連は日本にアメリカの年間予算の3分の1に相当する賠償金を支払うことに。

1935年1月17日 ドイツ、デンマークを併合。

1935年3月5日 アメリカ空軍、戦闘機の量産を開始。

1935年3月6日 ジャパリパーク海軍、イギリス領オーストラリアを訪問。

1935年3月7日 オーストリア・ハンガ

プロローグと紹介

昭和は戦争の世であった。

そして、その戦火に巻き込まれ、ブーゲンビル島上空で戦死した山本五十六は38年前の後世世界で若き海軍少尉候補生・仲島英昭・として生まれ変わった。

彼は前世のような敗北を避けるため、クーデターを実行。

東條英機内閣を倒し、新政権を樹立。

アメリカとの戦争に備え、大規模な軍拡を開始。

そして、昭和16年（皇紀2601年）12月8日、大日本帝国はアメリカ合衆国に宣戦布告。

ハワイ諸島などの島々を占領した。

登場人物紹介

・中島英昭（なかじまひであき）

大日本帝国海軍の海軍大将。

前世では、山本家に養子としてとられ、山本五十六という名前になったが、後世世界

では、高野姓のままである。

・堀越武（ほりこしたける）

大日本帝国陸軍の陸軍中將。

前世では、陸上自衛隊員として、尖閣戦争を戦い、前線で戦死した。

・東郷宏（とうごうひろし）

大日本帝国の総理。

前世世界の日本からの転生者の一人である。

趣味は碁。

・サーバル

ジャパリパーク海軍の海軍中將。

趣味は碁。

殺人の前科持ち。

・かばんちゃん

ジャパリパーク海軍の船乗り。

趣味は読書。

殺人の前科持ち。

・サーバル

ジャパリパーク陸軍第一戦車大隊の司令官。
趣味は絵描き。

相当のサイコパス。

・トキ

ジャパリパーク空軍特殊航空隊の司令官。

主な攻撃方法は音響攻撃。

・西郷南州（さいごうなんしゅう）

副総理。

東郷率いる清貧党と連立を組む太陽党の総裁。

前世では、薩摩藩士であった。

・遠坂萌（とおさかもえ）

大日本帝国陸軍の将校。

前世では、エルヴィン・ロンメルとして、北アフリカ戦線を戦い、英独両軍から・砂漠の狐・と恐れられた。

これ以上は紹介しきれないので、物語を進めていくうちに、紹介していきます。

茶番

舞台裏にて

サーバル：あつ、筆者さん。ここの設定どうにかありませんかね？

俺：あー、悪いな。それについては、変更したら話がつまらなくなっちゃうんだ。

サーバル：キンタ（ゲフンゲフン）キンメルさんはどう思う？

キンメル：お前さつき、俺のことをキンタマって言おうとしただろ。（笑い）

まあ、プレーリードッグを俺の艦に侵入させるとなると、乗組員の衝撃が大きいぞ。

東郷宏：おい。コーヒーを持ってきたぞ。まあ、作者さんの投稿速度は遅いんだし、ゆっくりしてようよ。

サーバル：そうだね。そういうえば、けものフレンズ3ってやったことある？

東郷宏：ああ、あれか。それなら、俺はシーサーバルIIライトをゲットしたよ。

キンメル：俺は昨日始めたばかりであまりよくわからないよ。

かばんちゃん：あつ、サーバルさん。なんか、僕が使ってる小銃から黄色い透明な液体が出てくるんだけど、どうすればいいかな？

第一話 運命の開戦　　我、ハワイ諸島ノ米艦隊及ビ蘭 印ノオランダ艦隊ヲ撃滅セリ

1941年12月8日

ジャパリパーク　キタキョウシユウ飛行場

かばんちゃん視点

「では、いつて参ります。」

私はそういつて、ジエツト戦闘機 j p r - 59 に乗り込み、キタキョウシユウ飛行場を飛び立った。

この後は、ウエーク島上空で日本海軍の機動部隊と合流し、ハワイ諸島の米艦隊を攻撃するという流れだ。

・ニイタカヤマノボレ1208

大日本帝国海軍からの暗号ですか。

・ハワイ艦隊を撃滅せよ。

じゃあ、行きますか。

その頃、日本国内では・・・

日本国内では、帝都放送を通じて、開戦の報道が行われた。

「臨時ニュースを申し上げます。臨時ニュースを申し上げます。大本営陸海軍部、十二月八日午前六時発表。帝国陸海軍は本八日未明、西太平洋においてジャパリパーク海軍とともに、アメリカ海軍の太平洋での本拠地であるオアフ島の攻略に成功せり。」

その頃、スラバヤ沖では

オランダ領東インド スラバヤ沖

大日本帝国海軍 & a m p ; ジャパリパーク海軍 v s アメリカ海軍 & a m p ; オーストラリア海軍 & a m p ; オランダ海軍 & a m p ; イギリス海軍

サーバル視点

私たちはスラバヤ沖で、A B D A 連合艦隊と衝突した。

戦力はこんな感じ。

大日本帝国海軍

戦艦 15 隻

軽巡洋艦 10 隻

重巡洋艦 8 隻

駆逐艦 40 隻

ジャパリパーク海軍

戦艦 20隻

軽巡洋艦 16隻

重巡洋艦 15隻

VLS搭載艦 5隻

空母 5隻

駆逐艦 50隻

ジェット戦闘機 j p r | 9 5 5 0 0 機

アメリカ海軍

戦艦 18隻

軽巡洋艦 17隻

重巡洋艦 15隻

駆逐艦 45隻

オーストラリア海軍

戦艦 5隻

駆逐艦 15隻

オランダ海軍

戦艦 5隻

駆逐艦 30隻

戦力としては、こちらが勝っているな。

「全艦、砲撃用意。目標、アメリカ海軍。撃てっ！」

ドカーン！

「ミズーリ、撃沈しました。」

「あとは、VLS搭載艦に任せる。VLS搭載艦全艦に告ぐ。トラックナンバー、101

8。ミサイル発射。」

「了解。ミサイル発射！」

そんな私の指示とともに、VLS搭載艦・グレートジャーニー・サントンデール・バルチック・の3隻からミサイルが300発ほど発射された。

ちなみに、ミサイルの弾頭はサーモバリック爆弾で、1発でかなりの被害が出る。

「全員、対閃光防御！」

「弾着まで、5、4、3、2、1、今！」

ドカーン!!

大爆発とともに、大きな火球が現れた。

この火球はシンガポールからも見えるほどであり、連合国に大きな衝撃を与えた。

その後、日本軍はスマトラ島に上陸。

オランダは本土が落ちてしまっているため、植民地にほとんどの軍隊を置いていたが、約3日でインドネシア全域を占領した。

第二話 ビルマ戦線

1941年12月23日、遠坂萌陸軍中将率いるジャパリパークビルマ軍団は牟田口廉也率いる日本ビルマ軍団とともに、インパールへ進撃を開始した。

1941年12月23日

ビルマ戦線

遠坂萌視点

「全軍、インパールへ進撃せよ！」

そんな私の指示とともに、全軍がインパールへ進撃を開始した。

総兵力はこんな感じ。

大日本帝国陸軍日本ビルマ軍団

戦車

JPT—25 500両

JPT—96 500両

歩兵 15個師団

歩兵の装備

J P 5 3 | B 2 式無反動砲

J P 5 3 | A 1 式自動小銃

J P 5 6 | A 2 式自動小銃

人型セルリアン 15 個師団

ジャパリパーク陸軍ジャパリパークビルマ軍団

戦車

J P | 5 6 イースター 5 0 0 両

J P T | 9 6 5 0 0 両

歩兵 3 0 個師団

人型セルリアン 1 5 個師団

歩兵の装備

J P | 2 無反動砲

J P | 2 3 | A 1 式小銃

J P | 2 5 | A 2 式小銃

T シリーズの戦車をいくらか、日本陸軍に貸与したらしいので、ジャパリパーク陸軍が J P

おかげで、日本陸軍の戦車も開発が進んでいて、最近では〇一式重戦車・ジイ・が完成して、量産体制に入っている。

ジイはジャパリパーク陸軍の1940年型（世界から見れば未来の戦車）戦車・JP T-96・元にした戦車で、性能は史実の陸上自衛隊で使われている10式戦車ぐらいだ。

それから5時間後、日本ビルマ軍団とジャパリパークビルマ軍団はコックスバザールで英印軍と衝突した。

敵戦力はこんな感じ。

戦車 500両

歩兵 17個師団

「戦車部隊、砲撃用意！ 目標、イギリス陸軍。撃てっ！」

ドカーン!!

この2時間後、日本ビルマ軍団とジャパリパークビルマ軍団はコックスバザールを突破。

その後、インパール作戦も成功。日本軍はデリーも突破し、テヘランまで迫った。

テヘラン突破後の作戦としては、スエズ運河のイギリス軍を殲滅し、アフリカへ進出。

ドイツ軍とは合流せずに、そのまま南下。

南アフリカのプレトリアへ進撃する。

そして、1942年10月13日。

日本ビルマ軍団とジャパリパークビルマ軍団はテヘランでイギリス陸軍と交戦した。へ敵戦力はこんな感じ。

戦車 85両

歩兵 15個師団

この戦いにも勝利し、日本ビルマ軍団とジャパリパークビルマ軍団はテヘランを突破。

その後、両ビルマ軍団はメッカやエルサレムへの侵攻を行わず、スエズ運河に侵攻。

エルアラメインのイギリス軍は完全にドイツ軍のことしか頭になかったため、後方から殴られる形となった。

これにより、エルアラメインのイギリス軍は3日で壊滅した。

第三話 帝都初空襲

1942年11月13日

ジャパリパーク パークセントラル

ジャパリパーク情報技術総合研究所

セーバル視点

この日、ジャパリパークの情報技術総合研究所では、あることに関して話し合いが行われていた。

「SANDNETの日本列島への延伸か。何年ぐらいかかるんだ？」

「はい。1946年3月には工事が終わるでしょう。」

・SANDNET・

無線型情報転送システム。

所謂、光回線だ。

100年前（ジャパリパークが転移してくる前の世界では1960年）にジャパリパーク政府が国内全域に軍事目的で敷設したものだ、現在では、民間人もこのネットワークに参加している。

これを日本まで広げるとなると、相当の利益が見込める。だが、今は戦時だ。

おそらく、日本での民間人の参加は戦後になるだろう。

そんなとき、一人の兵士が会議室に駆け込んできた。

「失礼します!」

「おい! 今は会議中だぞ!!」

「まあ、待て。その報告というのは?」

「はっ。敵機の来襲であります。3分前に米空軍の爆撃機がジャパリパーク本土に侵入。キタキョウシユウ工業地帯を爆撃し、北進しています。また、我が軍の戦闘機が近づくと、高度を10000メートルまで上げ、寄せ付けないとのことです。」

「迎撃には何が動いた?」

「はっ。ジェット戦闘機jpr-98とジェット戦闘機jpr-88が出撃しています。」

「そうか。では、それらをすべて戻し、ゼウスIIアシヨアを使え。」

「了解!」

ゼウスIIアシヨアは自律高速計算システム(コンピューター)制御型の陸上配備型の迎撃ミサイルである。

ゼウスⅡアシヨアのレーダーであるS A N—1は半径9000キロメートルを監視
することができるため、敵国の領土をミサイルで攻撃することもできる。

ジャパリパーク ナギサキ

ナギサキⅡゼウスベース

トキ視点

私は指示に従って、ミサイル発射の操作を行った。

「操作開始！」

「S A N—1、キョウシユウ工業地帯上空の爆撃機を探知。軌道計算開始。
照準データとしてミサイルに記憶させます。」

・ ・ ・
計算完了。

「最終安全装置解除。S A—3発射用意！」

「撃てっ！」

そんな指示とともに、ミサイルが発射された。

ジャパリパーク キョウシユウ工業地帯上空

米空軍B—29爆撃機隊

アメリカ空軍のパイロット視点

俺たちはキョウシユウ工業地帯への爆撃のため、ジャパリパーク本土に侵入した。

「うん？ 司令官。我々の上から何か落ちてきます。」

「ははっ、そんなことはあり得ないだろう。我々より高く飛べる機は今のところは無いわけだからな。」

「し、しかし・・・」

「だって、そんなヘチマもあるか！ 俺たちは高度10000メートルを飛んでいるんだぞ！！」

俺は一緒に乗っていた乗組員の話をただの見間違いだろうと考えて相手にしなかった。

その時だった。

ドカーン！！

轟音とともに、隣のB―29が爆発したのだ。

「なんだ?！」

「隣を飛行していたB―29が突如爆発。消滅しました。うん？ 前方より未確認飛行物体多数！ 回避してください！」

「ダメだ！ 間に合わない！ グワァ!!」

俺の機にもミサイルが直撃し、俺は死んだ。

その後、キョウシユウ工業地帯を襲ったB―29は最初の攻撃から数分で全機が撃墜された。

第四話 アムール作戦

1942年11月25日

ソビエト社会主義共和国連邦 モスクワ

キユルル視点

僕はアムール作戦について考えていた。

「作戦実行日は1943年5月4日。極東に展開しているソ連軍をすべてウラジオストクへ集める。その後、新潟、青森、稚内へ上陸か。中々、ごり押し of 作戦だな。まあ、数があるからこそこれぐらいのことが出来るだろうけど。」

「司令官、これは、同志（スターリンのこと）の提案で……」

「分かっている。この部屋に盗聴器が仕掛けられているとでも？」

「いえ……」

「まあ、日本の艦隊がタタール海峡（間宮海峡のこと）に現れないことを祈るしかないか。あつ、それと、満州への侵攻もした方がいいと思うよ。すべて日本本土へ侵攻させるとなると、極東に軍を置けなくなるから、かなり危険だからね。」

「了解しました。同志に提案してきます。」

その頃、太平洋では・

太平洋では、シーサーバル・ライト率いるジャパリパーク海軍潜水機動艦隊の・フィヨルド・ヤガー・サンドスターの三隻がミッドウェー諸島に接近しつつあった。

「全艦、潜望鏡深度まで浮上。1番から20番までのミサイル発射管を開け。」

「了解。浮上用意。」

「ミサイル発射用意。発射！」

それと同時にミサイルが60発ほどミッドウェー諸島に向けて飛んで行った。

「爆発音を確認。攻撃は成功したようです。」

「よし。海域を離脱する。」

これにより、ミッドウェー諸島の軍事施設はほぼ壊滅し、米軍が太平洋に出ることが出来なくなった。

その頃、南米では、ドイツの根回しにより、パラグアイとアルゼンチンでファシスト政権が成立。

ボリビアに宣戦布告したことで、第二次グラン・チャコ戦争が始まった。

さらに、アルゼンチンがフォークランド諸島の返還をイギリスに要請。

イギリスは拒否し、アルゼンチンに宣戦布告。

40年以上早く、マルビナス戦争が始まった。

早速、アルゼンチン軍はフォークランド諸島に上陸。

しかし、イギリス軍の強固な防衛戦を前にアルゼンチン軍の上陸作戦は中々成功しなかった。

そこで、ジャパリパーク海軍はアルゼンチンの支援のため、空母をフエゴ島沖に展開し、フォークランド諸島のイギリス軍に対して、超音速ジェット戦闘機 j p r - 89 を用いて爆撃を開始。

これにより、フォークランド諸島のイギリス軍は壊滅。

爆撃から3日でアルゼンチン軍にフォークランド諸島を明け渡した。

しかし、イギリス軍は体制を立て直し、今度は大西洋に展開していた空母から戦闘機 800 機を発進。

フォークランド諸島及びフエゴ島沖のジャパリパーク海軍の空母を攻撃。

しかし、ジャパリパーク海軍のジェット戦闘機 j p r - 256 による攻撃により、すべて壊滅。

その後、ジャパリパーク軍はドイツ軍とイタリア軍と共同でパーティー作戦を実行。

ジャパリパーク海軍の空母 13 隻、イタリア海軍の空母 10 隻、ドイツ海軍の空母 15 隻。

合計 38 隻の空母から戦闘機 3800 機が飛び立ち、イギリス本土全域にブギーボ

ムを投下。

イギリス本土はしばらくディスコのような状況になった。

第五話 第二次冬戦争

1943年5月3日、アムール作戦の準備を進めていたソ連極東方面軍に予想外の報告が入った。

ヨーロッパに展開しているソ連軍がフィンランドに侵攻を開始したのだ。

フィンランド戦線では

フィンランド戦線では、ゲオルギー・コンスタンチーノヴィチ・ジューコフ将軍率いるソ連地上軍がフィンランド軍と衝突。激しい戦闘が行われていた。

「全戦線に於いて優勢だ。このまま、ヘルシンキを目指すぞ。」

「了解！」

その時だった。

ドカーン!!

「なんだ!?!」

「正体不明の敵戦車を確認！ 少なくとも、我が軍が把握しているドイツ軍の戦車ではありません！」

「新型か？」

「はい！」

「数は？」

「確認出来ているだけで、300両ほどと思われます！」

その新型戦車というのは、ドイツ軍の物ではなく、ジャパリパーク陸軍義勇軍の第三世代型戦車・JPT-325であつた。

性能は10式戦車とほぼ同等。

これをジャパリパーク陸軍はフィンランド戦線に5000両以上投入したので。

さらに、ジャパリパーク陸軍の大型歩行ロボット（シヨーグンIIエグゼキューション）もフィンランド戦線に5000体投入している。

これにより、フィンランド軍側が一気に優勢となり、1943年12月3日にムルマンスクが陥落。

その後も、ソ連軍は敗走を続け、サンクトペテルブルクをフィンランド軍が占領。

そんな中、ソ連に追い討ちをかけるようなことが起きた。

大日本帝国がソ連に宣戦布告し、ウラジオストク近郊に上陸。アムール作戦実行のためにウラジオストクに集合していたキュルル率いるソ連極東方面軍250師団が包囲されたのだ。

ウラジオストクでは、キュルル率いるソ連極東方面軍が日本軍やジャパリパーク軍の

攻撃に去らされていた。

「ケレンスキー司令官！ これ以上は持ちません！ 撤退の許可を！」

「お前は祖国を裏切る気か!? そんなことをしたら、NKVD（内務人民委員部）に殺されるぞ！ 前進あるのみだ！ 撤退するものは殺す！ 撃てっ！」

それと同時に、全軍が日本軍に攻撃を開始した。

それから、3分後。

「司令官……」

突然、一人が攻撃を止め、話しかけてきた。

「なんだ？ 敵を蹴散らせ。」

「了解。」

そういうと、彼は、銃のリロードを行い、僕に銃口を向けた。

「おい。俺じゃなくて、日本軍を撃て。」

「はははっ、誰がロシアの敵か分かっていないようですね。」

「なんだ？」

「あなたですよ。」

「！ 何をふざけたことを!!」

「このまま、戦争を続けていたら、いつかはロシア民族は崩壊します。さらに、我がロシ

アは多数の民族を抱えた多民族国家です。日本のように国内に一つの民族しかない国家なら、その一つの民族が滅亡するだけです。ロシアのような多民族国家なら、我々ロシア民族のような大多数の民族が崩壊すれば、チエチエン民族なども路頭に迷い、最悪、他の民族と吸収されてしまうでしょう。そもそも、多民族国家なら、大多数を占める民族だけでなく、少数民族も守る必要があります。しかし、我がロシアはどうでしょうか？ チエチエン民族やユダヤ民族に対する迫害があります。これでは、我々が敵対しているドイツと同じではないですか。何が・大家族・ですか。ロシア民族だけの家族ですか？ 近所の人に優しくない家族ですか？ いえ、家族とは近所、つまりは少数民族も平等に守るものです。しかし、あなたは、共産主義者の皮を被ったファシストです。あなたのような人がいたら、ロシア民族だけではなく、少数民族にも害を及ぼします。」

「ははっ、そうか。人に殺されるのは嫌いでね。殺されるぐらいなら、自分で死ぬよ。」
僕はそういつて、自分の頭に銃を向け、引き金を引いた。

バキューン!!

そんな音と同時に僕の意識は暗転した。

その後、スターリンにキュルルの戦死とソ連極東方面軍の全軍降伏の報告が入った。

さらに、キュルルの副官であつたカラカルはフツ化水素酸弾が下腹部に命中。

即死であつた。

第六話 ジブラルタル航空戦

1943年5月4日、ヨーロッパではドイツ軍がイギリスの植民地であるジブラルタルを占領するため、ジブラルタルを爆撃。

ジブラルタル航空戦が始まった。

この航空戦ではジャパリパーク空軍が傭兵部隊として参加しているため、ドイツ側が有利だろう。

戦力はこんな感じ。

ドイツ空軍

me262 500機

He163改 500機

Bf109 500機

Ho229 500機

重爆撃機Do986クラーケン 500機

ジャパリパーク空軍

J p r — 9 8 6 5 0 0 機

J p r — 0 2 5 5 0 0 機

J p r — 0 1 1 5 0 0 機

ジエツト戦略爆撃機 J P — 1 9 5 0 0 機

しかし、ジャパリパーク空軍の作戦は敵機の殲滅ではなく、爆撃であった。

これに気づいたイギリス軍だったが、すでに手遅れであった。

「司令官！ ジブラルタルが爆撃を受けています！」

「すぐに戦闘機を発進させろ!!」

ジブラルタル上空

ジャパリパーク空軍 J P — 1 9 爆撃隊

「全機、対地ミサイル、 J P M — 2 5 発射用意！」

「了解。照準よし。発射！」

それと同時に五発のミサイルが発射された。

爆撃隊は発射と同時に高度10000メートルまで上昇。

その数秒後、ミサイルが目標に命中。

巨大なキノコ雲と高温の熱線により、ジブラルタルは消滅した。

その後、義勇軍として来ていたセーバル陸軍中將率いるたジャパリパーク陸軍が第一

機甲義勇師団はスペイン軍とともにイギリス領ジブラルタルに侵攻。

わずか3日で陥落した。

その頃、遠く離れた極東ではシーサーバルライイト艦長率いるジャパリパーク海軍第一機動艦隊がミッドウエー島を艦砲射撃。

ミッドウエー海戦が始まった。

戦力はこんな感じ。

大日本帝国海軍

航空母艦 5隻

戦艦 6隻

重巡洋艦 7隻

軽巡洋艦 3隻

駆逐艦 20隻

艦載機 600機

水上機 20隻

ジャパリパーク海軍

航空母艦 7隻

戦艦 13隻

ミサイル巡洋艦 5隻

駆逐艦 40隻

揚陸作戦空母 5隻

ジェット戦闘機 j p r 116 500機

アメリカ海軍

航空母艦 6隻

戦艦 7隻

ミサイル巡洋艦 4隻

駆逐艦 60隻

F4F 60000機

まず、ジャパリパーク海軍の戦艦・グレートジャーニーの砲撃により、アメリカ海軍のサウスダコタ級戦艦・アラバマが轟沈。

さらに、ジャパリパーク海軍の空母・パークセントラルから j p r 116 が発進。

アメリカ海軍のセックス級空母・バンカーヒルが大破。

その報復を受け、戦艦・ヤガー・マングローブ・サヘルの3隻が損害を受けた。

しかし、サンドスターによる応急処置により、数秒で戦闘に復帰。

翌日の昼頃にはアメリカ海軍が壊滅。

その後、ジャパリパーク空軍がビーネルト住血吸虫をミッドウエー諸島に散布。
ミッドウエー諸島の占領に成功した。

第七話 ウラル山脈へ進撃せよ。

1943年6月10日、関東軍と在満ジャパリパーク軍は満州から一斉に北上を開始。

ジャパリパーク陸軍第一機甲大隊と第二歩兵師団でコミンテルン加盟国のモンゴルに侵攻。

JPT-25などの戦車を用いて、一気に突貫。

1944年1月13日にはウランバートルにジャパリパーク陸軍が入城。

翌日にモンゴルが降伏した。

その3日後の1944年1月16日には関東軍がバイカル湖周辺地域を占領。

さらに、大日本帝国陸軍航空隊はバイカリスクから飛ばしたジェット戦略爆撃機・天照1型・でモスクワを爆撃。

この頃のフィンランド上層部は突然現れた日本軍の航空機に驚き、ドツタンバツタン大騒ぎ状態であった。

その頃、ジャパリパーク陸軍は西へ進撃を開始。

ウラル山脈を目指した。

ジャパリパーク陸軍はJPTー56Rを用いてソ連陸軍のTー34を圧倒。北極海では、ジャパリパーク海軍の砕氷戦艦・フィヨルド・ヤガー・エゾ・ホートクの4隻を主力とするオホーツク艦隊がソ連海軍の潜水艦部隊を片つ端から沈めていた。

ラフテフ海

ジャパリパーク海軍オホーツク艦隊

イエネコ視点

私達はベーリング海を突破し、北極海に出た。

一応、ベーリング海の制海権は大日本帝国海軍とジャパリパーク海軍が維持にあたっているため、補給線が死ぬことはないだろう。

さらに、最近になって、モスクワを占領したことで、ドイツ空軍の爆撃機が極東にも来てきている。

おかげでソ連海軍も海軍総兵力の3分の2を失っているようだ。

「司令、ソ連海軍の潜水艦を発見。数は20です。」

「全艦、対潜戦闘用意。魚雷発射。」

そんな私の指示とともに、魚雷が300発以上発射された。

20秒後

「突発音を確認。回数は20。レーダーに反応なし。全滅しました。」
「わかった。対潜戦闘終了。」

その頃、ジャパリパークでは・・・

ジャパリパーク キタキョウシュウミサイル基地

キロネックス視点

私たちはソ連戦線について話し合っていた。

「ああ。ソ連陸軍ののゲリラ戦術でドイツ軍はかなり手間取っているらしい。そこで、セルリウム爆弾を搭載した火星17を用いて、ソ連の臨時首都であるウファを攻撃する。」

「キタキョウシュウからウファまでの距離は6670・705キロメートル。射程の約半分です。」

「そうか。発射手順を開始してくれ。」

「了解！ 第一安全装置解除。」

3分後

「発射まで10、9、8、7、6、5、4、3、2、1、発射！」

それと同時にミサイルが空高く飛んでいった。

3分後、ウラル要塞では・・・

スターリン視点

俺はドイツ軍に対処するため、ウラル要塞で指揮を執っていた。

そんな中、一人の兵士が部屋に駆け込んできた。

「失礼します！ 緊急の報告です。ウファで謎の爆発が発生。現地の部隊は壊滅しました！」

「何だと!? 何が原因なんだ?」

「おそらく、ミサイルかと。」

「ミサイル? どこから翔んできたんだ!?!」

「東からです。」

「東……日本がミサイルを開発したというのか?」

「いえ。まだ調査中であり、詳しい情報は入ってきておりません。」

「そうか。できるだけ早く原因を特定してくれ。」

「了解!」

そういつて、彼は部屋を出ていった。

その後、ドイツ軍はウラル山脈以西をすべて占領。

さらに、3日後にはジャパリパーク陸軍がエカテリンブルクに入城。

同日、ソ連は降伏した。

その後には結ばれた講和条約・東京条約・でウラル山脈以西をドイツ、ウラル山脈以東を日本に分割統治されることとなった。

英国本土上陸作戦 前編

1944年1月25日、ドイツ軍はアシカ作戦を開始。

これを受け、在独ジャパリパーク軍もイギリス本土上陸作戦を実行。

ジャパリパーク陸軍はイギリス本土への橋頭堡を確保するため、中立国であるアイルランドへ侵攻。

北アイルランドを失う可能性があると考えたイギリス軍はアイルランドに義勇軍を送ったが、ジャパリパーク空軍の攻撃により、アイリツシユ海を航行していたイギリス海軍の輸送船が全滅。

アイルランド軍は孤立した。

その頃、アイルランドでは

アイルランド ダブリン

ダグラスⅡハイド視点

私はサンドスター諸島（アイルランド側のジャパリパークの呼び名）による我が国への侵攻を阻止するため、作戦を考えていた。

「現在、我が領土の周辺では、我が国の海軍がサンドスター諸島海軍相手に海戦を行って

いるが、我が軍の被害は増えるばかりだ。このままでは、本土侵攻もあり得る。北アイ
ルランドのイギリス軍の支援を受けることも考えたが、北アイランドはドイツ軍の爆
撃を受け、ほぼ壊滅状態。イギリス軍の支援は期待できない。この状況をどうやって覆
すか。」

「アメリカ政府からの連絡によると、アメリカ軍は5か月後にフランス北西部への大規
模な上陸作戦を実行しようとしているようです。」

「そうか。アメリカ政府に時期を早めてくれるように頼んでみる。」

そんな時、一人の兵士が駆け込んできた。

「大統領閣下！ 緊急の報告です！ サンドスター諸島軍がドロエダに上陸しまし
た！」

「何だと!? 米軍に協力要請を出せ！」

「そつ、それが、大西洋に展開されていた米海軍がサンドスター諸島海軍の攻撃により、
壊滅。米軍の協力は望めない状況であります。」

「・・・どうすればいいのだ。」

その頃、シベリアンハスキー陸軍中將率いるジャパリパーク陸軍第八機甲軍団はド
ローエダに上陸。

アイルランド軍と衝突した。

戦力はこんな感じ。

ジャパリパーク陸軍第八機構軍団

JPT-36 500両

JPT-98 500両

JPT-56R (歩行ロボット) 500台

JPC-39 (特殊戦闘車両) 600台

歩兵 30個師団

ジャパリパーク空軍第一機動航空隊

jpr-25 500機

jpr-259 500機

ジエツト戦略爆撃機JP-98 500機

jpr-98 500機

jpr-105 500機

ジャパリパーク海軍海陸機動艦隊

駆逐艦 80隻

ミサイル巡洋艦 50隻

揚陸空母 20隻

潜水艦 16隻

イタリア陸軍補給部隊（ジャパリパーク陸軍の後方支援）

軽トラック 50万両

レジャーシート 人数分

水筒 人数分

サンドイッチとかが入っているピクニックバスケット 人数分

イタリア製のカードゲーム 人数分

歩兵 50個師団

アイルランド陸軍

バレンタイン歩兵戦車 500両

突然の上陸に慌てたアイルランド軍は次々と後退。

多数の被害を出した。

その頃、後方の拠点では

「よっしゃ、また俺の勝ちか。」

後方の拠点では、イタリア軍がピクニックをしていた。

「マジかよ。強えな。」

「俺、この戦争終わったたら、カードを揃えるんだ。」

「フラグが立ちました！」

「勃ちましt」

「ちよつと、黙ろうか。」

「すいません・・・」

「おい。それより、ジャパリパーク陸軍から連絡だ。追加物資を頼むだつてよ。」

「じゃあ、私がデリバリーに行つてくるよ。」

「おう。死ぬなよ。」

「死なないよ。前に奥さんにぶちギレられて、デリケートゾーンに強力なローキックをくらったけど、その時も何かが潰れただけで、命には別状なかったでしょ？」

「そう話すのは元男性の兵士だ。何でも、奥さんに浮気がバレて、タマタマを潰されたらしい。」

「ははつ。でも、銃弾はさすがにやべえから気をつけろよ。」

「じゃあ、行つてきまーす。」

英国本土上陸作戦 後編

1944年1月26日、太平洋戦線に余裕が出来たジャパリパーク海軍太平洋艦隊はグレートジャーニー級戦艦（日本でいう大和型戦艦）・レッドストーン・クリーチャー・ウイザーの3隻をヨーロッパ戦線に派遣。

1944年2月2日にイギリス近海に到達。イギリス本土への艦砲射撃を開始した。さらに、ジャパリパーク空軍はアイルランドに建設した飛行場からセルリウム爆弾を搭載した爆撃機を発進。イギリス本土ではあちこちでキノコ雲が現れ、都市を焼き尽くしていった。

最早、イギリス本土に逃げる場所などない。

その後、ドイツ陸軍とジャパリパーク陸軍はハンバーサイドの海岸線から一斉に上陸を開始。

ジャパリパーク陸軍はJPT-47を用いて一気に北上。

イギリスの臨時首都であるインヴァネスまで迫った。

その頃、ジャパリパークでは

ジャパリパーク パークセントラル

ジャパリパーク科学技術研究所暗号科
アフリカオオコノハズク視点

この日、私が担当する暗号科で、あるコンピューターのテストが行われようとしていた。

「こちら、暗号情報官。準備完了です。」

「分かった。この実験が成功すれば、格子暗号も解くことが出来る。頑張ってくれ。」

その実験というのは、第十六世代型量子コンピューターの実験である。

このコンピューターが完成すれば、敵の暗号も手に取るように分かるようになるだろう。

この実験に失敗するわけには行かない。

「量子コンピューター起動。」

「起動します。」

それと同時に大きな音を出し、コンピューターは動き始めた。

「5000次元までの格子問題を入力せよ。」

「入力完了。計算開始。」

3秒後・

「計算成功。5000次元の時点の計算速度は0.00000002マイクロ秒です。」

実験は成功しました。」

「それは良かった。コンピュータを停止。」

私は安堵した。

「司令。実験成功です。」

「それは良かった。ありがとう。」

以降、連合軍の暗号はリアルタイムで解読されることとなる。

舞台は戻り、イギリス本土へ。

ロンドンでは、ジャパリパーク陸軍が民兵組織・ホームガード・の伏兵を一掃していた。

イエイヌ視点

私はロンドンで民兵組織・ホームガード・の掃討作戦に参加している。

「サーモグラフィに反応なし。生体レーダーを起動しよう。」

私はそういつて、ヘルメットに付いている生体レーダーを起動した。

ピーピー……

「反応はあのビルか。」

それは爆撃により廃墟となったホテルであった。

「全員、このビルをぶっ飛ばすぞ。」

「了解！ 爆弾設置完了。」

「よし。退避。起爆！」

ドカーン!!

大きな爆発音とともに、そのビルは崩れ去った。

そして、そのビルに隠れていたイギリス兵15人がすべて死亡した。

その後もイギリス軍は強い抵抗を続けたが、ウエストミンスター宮殿立て籠っていたウインストン・チャーチルがジャパリパーク空軍の爆撃で戦死したことが判明。

2日後の1944年2月18日にイギリス軍全軍が降伏した。

しかし、その後にはイギリス軍の将校であるマイケル・ド・バーグが徹底抗戦を表明。

イギリス政府と王室はカナダに亡命した。

ジャパリパーク宇宙軍の活躍

1944年3月2日、ジャパリパーク宇宙軍太陽系艦隊は火星の基地から出発。地球に接近し、アメリカ本土上空で止まった。

この時のアメリカの新聞は大騒ぎであった。

・未知のエイリアンの襲来・など、変なことを書かれる程であった。

さらに、アメリカ国内では、罪を悔い改めようとする人々が教会に集まり、大混雑となった。

中には、世界の終わりが来ると考え、自殺する者も現れた。

その頃、日本では・

山本五十六視点

「えっ？ あの一、冗談ですよ？」

俺は東條英機首相の提案に戸惑っていた。

「ああ。冗談ではない。ジャパリパークが作る物語に合わせたいから、君にはなまはげの格好をして、アメリカのテレビに出てもらいたい。」

「いや、えっ、エエーエーエー!?!」

「君が戸惑うのもよくわかる。だが、これも勝つためだ。日本の子供たちなら、なまはげを見て、泣いて喜ぶぞ（笑い）」

（東條さん、あなたがやってみては？ なま・はげ・ですし。このハゲー！ 違うだろー！）

その後、何だかんだあつて、俺がやることになった。

そして、2日後の1944年3月4日・

俺は準備をするため？なまはげの服装に着替えた。

「司令官、アメリカの放送電波を乗っ取りました。いつでも放送可能です。」

「わかった。台本をくれ。」

「これです。」

俺は兵士から台本をもらい、放送に備えた。

「放送まで、3、2、1、放送！」

「アメリカの諸君。私は皇国の守護神である。諸君に警告する皇国を戦に引き摺りこんだ者は名乗り出よ。さもなば、火の雨が降る。明日までに名乗り出よ。」

「放送終了。おつかれさまです。山本長官。」

そして、翌日。

ジャパリパーク宇宙軍太陽系艦隊

宇宙戦艦・オウムアムア・

ウラレーク視点

私はアメリカ本土攻撃の準備をしていた。

「司令官、レーザー砲異常ありません。発射プロセスを開始します。」

「分かった。発射プロセス開始。」

「了解！ 全システムをスリープ。回路切り替えます。」

「切り替え完了。レーザー砲正常に作動。目標上空まで約5分。安全装置解除。いつでも撃てます。」

「まだ、時間まで10分ある。少し待て。」

10分後……

「アメリカ政府からの回答はありません。」

「そうか。よし、撃て。」

「了解！ 発射！」

それと同時にまばゆい光とともに、レーザー砲が発射された。

そして、3秒後。

グラランドキャニオンにレーザーが直撃。

グラランドキャニオンは大きなクレーターとなり、消滅した。

勿論、出力を上げれば、アメリカの領土をまるごと吹き飛ばすことも可能だが、さすがに後が面倒なのでやめておいた。

南アメリカ侵攻作戦

1945年1月2日、ドイツ軍とジャパリパーク軍は南アメリカへの上陸作戦・フェルディナント作戦・を実行。

早速、ジャパリパーク海軍の揚陸空母50隻が出港。

これを助けるため、ジャパリパーク宇宙軍は宇宙から南アメリカ大陸を攻撃。

これにより、ジャパリパーク海軍海兵隊とドイツ陸軍が仏領ギアナへの上陸に成功。

そのまま、パナマに上陸してきた日本軍と合流し、そのまま、北アメリカへの侵攻作戦・サンドスター作戦・を実行。

ジャパリパーク海軍太平洋艦隊は戦艦40隻でオサ半島を砲撃。その頃、欧州ではサルザール独裁政権下のポルトガルがスペインとともにアフリカへ侵攻。

アフリカでは、アメリカ軍の敗残兵がゲリラ戦を展開したが、ジャパリパーク宇宙軍によるアフリカへの爆撃により、ゲリラ部隊は壊滅。

さらに、ソマリアに上陸した日本陸軍により、南アフリカの占領に成功。

1945年2月6日にはアフリカ全域が枢軸国の勢力圏となった。

舞台は戻り、南アメリカでは山下中将の下、日本軍は連合国側であるブラジルへ侵攻。

さらに、サーバル率いるジャパリパーク陸軍第一機甲軍団がブラジル南部の都市ヴィトリアに上陸。

サーバルは慣れない気候の地域に來たため、マラリアや黄熱病に10回ほどかかったが、フレンズ化しているため、3日ほどで自然に治った。

その頃、ジャパリパーク空軍は後に・史上最悪の作戦・と呼ばれることとなる作戦・同号作戦・を実行。

爆撃機9000機がアメリカ本土全域に媚薬・呂25・を散布。

アメリカ本土は年齢制限をかけられそうな状況になった。

呂25はジャパリパーク陸軍が非致死性兵器として開発したもので、敵国にばら蒔き、インフラなどを麻痺させるために使う。

ジャパリパークが転移する前にいた世界では、呂25が原因で滅びた国もある。ある意味恐ろしい兵器だ。

そもそも、ジャパリパーク軍の非致死性兵器にはふざけたものしかないので、呂25が一番マトモな兵器だ。

一番ふざけたものだと、ち〇こが東京〜大阪間の距離ぐらい長くなる薬などがある。

これ以上言うと、本当に消されそうなのでやめておく。

そして、その隙にツチノコ率いるジャパリパーク陸軍第二機甲軍団はメキシコに侵攻。

偶然、メキシコにいたため、難を逃れた米軍部隊はジャパリパーク陸軍相手にゲリラ戦を展開。

しかし、最新式の装備を供給されているジャパリパーク陸軍により、ゲリラ部隊は次々と場所をあぶり出され、壊滅した。

その頃、メキシコ軍は後に「最後の戦い」と呼ばれる作戦・バハカリフォルニア作戦を実行。

ジャパリパーク陸軍に対して、航空機による特攻作戦を展開した。

結果的にこの作戦は成功し、ジャパリパーク陸軍第二機甲軍団は壊滅。

ツチノコは頭にメキシコ軍の機銃掃射を受け、即死であった。

これに業を煮やしたジャパリパーク空軍はセルリウム爆弾を積んだ大陸間弾道ミサイルをメキシコシティに向けて発射。

3分後に着弾し、メキシコシティは巨大なキノコ雲とともに消え去った。

アメリカ本土に侵攻せよ。

1945年1月10日、メキシコシティへのセルリウム爆弾の投下により、メキシコシティが消滅したのと同時にジャパリパーク陸軍は一斉にアメリカ本土へ向け、進撃を開始。

ロサンゼルスなどの主要都市は大日本帝国海軍の艦砲射撃により、火の海となった。

1945年1月10日

グアイマス近郊

ジャパリパーク陸軍メキシコ軍団

メキシコ侵攻軍仮拠点

カラカル視点

私たちはメキシコを降伏させるため、作戦を考えていた。

「メキシコは見ての通り、逆三角形のような形になっている。よって、南部に行くほど、戦力を集めやすくなる。そして、雨季は6月から9月。よって、我々は5か月以内にメキシコ本土を陥落させる必要がある。よって、我々はコロラド砂漠を突っ切る。質問はないか? . . . ないようだな。では、作戦を開始する。」

「了解！」

30秒後・・・

私たちは戦車に乗り、メキシコ侵攻の準備をしていた。

「よし。全員乗ったな？ アメリカ本土へ進撃開始！」

そして、コロラド砂漠では、カラカル率いるメキシコ軍団が快進撃を続け、1月13日にはコロラド砂漠を抜け、アメリカ国境まで来た。

そして、全軍がアメリカ本土へ進撃を開始。

まず、日本の陸戦隊がロサンゼルスに上陸。

その後、ドイツ軍がアメリカ東海岸一帯を空爆。

それと同時にジャパリパーク陸軍メキシコ軍団が南部から一斉に侵攻を開始。

さらに、日本軍によるフェニックスへの空挺降下が行われ、米軍部隊はほぼ壊滅。

ロサンゼルスでは・

ロサンゼルスではジャパリパーク陸軍部隊と日本軍部隊が立て籠るユニオン駅に突入。

しかし、米軍部隊は激しい抵抗を続け、いまだに制圧出来ずにいた。

業を煮やしたジャパリパーク陸軍は地下鉄駅にマスタードガスを投入し、米軍部隊に大損害を与えた。

そして、翌日の1945年1月15日にはユニオン駅が陥落。

ロサンゼルス最後の米軍部隊は壊滅した。

そして、1945年1月18日にはフェニックスの日本軍部隊と合流し、ニューヨークに上陸したロンメル率いるドイツアメリカ侵攻軍はこれと同時にシカゴなどの主要都市を陥落させ、西海岸を目指した。

そして、1945年2月6日にはロスアラモス研究所にジャパリパーク陸軍が突入。

研究に關係する書類を奪い、研究所を爆破。

その頃、ジャパリパーク本土では

ジャパリパーク ナギサキ

兵器実験場

セーバル視点

私はある新型兵器の試験に立ち会っていた。

「そろそろですな。」

「ああ。」

「司令官。新型兵器・ロングバスターキャノン・の試験が始まります。」

「そうか。用意をしてくれ。」

「了解！ 縮退炉起動。異常なし。」

「ビーム砲異常なし。」

「安全装置解除。発射！」

「イトカワ、消滅しました。」

「そうか。実験は成功だ。」

予想外の出来事

1945年2月10日、ジャパリパーク軍総司令部にあるフレンズの姿があった。

ジャパリパーク パークセントラル

国防省 総司令部

かばんちゃん視点

私は本土に戻り、アメリカ本土侵攻軍の指揮をしていた。

「全体的にこちら側が優勢。6月頃までには本土侵攻は完了するものと思われれます。」

「そうか。そのまま、侵攻を続けてくれ。」

そんな時、地面が大きく揺れた。

ゴゴゴゴゴゴゴゴゴゴ

「なんだ!?!」

「地震発生! 震度は3。しかし、通常の地震のパターンとは違います。」

「どういうことだ!?!」

「司令官! ナギサキにて謎の爆発を確認。セルリウムは検出されず。また、爆発の直

前に米軍機が単機で現地に侵入していたことが分かりました。」

「まさか、原子爆弾か!？」

「はい。」

「すぐに本土防空隊を出動させろ。爆撃機を一機も本土に入れるな!。」

「了解!。」

「あと、今回の爆撃の死者のリストを5日以内に作って持ってきてくれ。」

「3000人全員のをですか!？」

「そうだ。スーパーコンピューターを使ってもいい。とにかく、5日以内に作ってく

れ。」

「了解!。」

後に飛来した爆撃機はエノラ・ゲイであることが分かった。

即座にジャパリパーク空軍は戦闘機JF-98を3000機ほど飛ばした。

この時のジャパリパークでのテレビ放送(ジャパリパーク中央テレビ(JPCTV)提供)

臨時ニュースを申し上げます。臨時ニュースを申し上げます。ジャパリパーク陸軍特殊兵器対策司令部より午後2時13分に発表されました。午後2時10分頃、アメリカ軍は我が領土ナギサキに対して核攻撃を実行。被害は微少であります。

その頃、アメリカ本土上空では

アメリカ本土上空では、ジャパリパーク空軍とアメリカ空軍が非常に大規模な空戦をしていた。

戦力はこんな感じ。

ジャパリパーク空軍

▪ JP—52F 500機

▪ JPr—85 500機

▪ jpr—985 500機

▪ jpi—58 500機

▪ pol—2 500機

▪ mask—24 500機

▪ jpr—25 500機

大日本帝国海軍航空隊

▪ 零戦 4000機

▪ 四式戦闘機 500機

▪ 飛燕(びえん) 500機

アメリカ陸軍航空軍

▪ F4Fワイルドキャット 500機

・ F 6 F ヘルキャット 500機

・ F 4 U コルセア 500機

・ P-51 マスタング 500機

・ F 2 G 500機

「こちら、アメリカ陸軍航空軍！ 敵機が速すぎる！ 指示を！」

「一機でもいいから撃墜しろ！」

「イエスサー！！」

ドカーン！！

「なんだ!？」

「敵機の来襲です！ しかし、レーダーに映りません！」

「何だと!? そんなはずはない！ レーダーをしっかりと見ろ!!」

「やはり映りません！」

「なぜだ!!」

「おい！ あれを見ろ！」

それは、ジャパリパーク空軍が使用しているミサイル《シューティングスター》で

あった。

「あれは・・・ミサイルだ!! 逃げろ!!」

その後、アメリカ陸軍航空軍は壊滅。

米国は航空戦力を完全に失った。

その後、日本陸軍とジャパリパーク陸軍はホワイトハウスに突入。

ルーズベルト大統領はその場で射殺された。

これにより、米国の政府は崩壊。

しかし、徹底抗戦を表明したため、ジャパリパーク軍はゲイボム作戦を展開。

ワシントンD・C・に阿部鬼を2000体以上投入。

これにより、ワシントンD・C・では、3000人以上の市民が掘られた。

これを受け、米国は降伏を宣言した。

戦後処理

第二次世界大戦は終結した。

この大戦の死者のほとんどは一般市民であり、後に世界最大の戦争と呼ばれることとなる。

この戦争の講和条約はベルリンで開かれ、その場で敗戦国の運命が決められた。まずはアメリカ。

アメリカは新しく、ジャパパークの傀儡であるアメリカ国家連邦として独立したが、ハワイとロサンゼルスは帝国通商地域として日本に編入され、東海岸の諸州は30年間ドイツ領に編入されることとなった。

これにより、米国は工業力を大幅に失い、長い不況に突入する。

しかし、15年後に起きたロシア内戦の際、国家全体でドイツ陣営の戦略物資の製造に携わり、特需景気により、繁栄を取り戻していく。

メキシコは新たにメキシコ国として独立するが、バハカリフォルニア半島をジャパパークに割譲。

これにより、バハカリフォルニア問題が発生。

60年後にジャパリパーク軍がメキシコに侵攻する原因となる。次に南米。

南米については連合国側で参戦していたブラジルは北部をドイツに割譲することとなった。

この国境線を巡って、第三次世界大戦の危機が迫る。

アルゼンチンについては、米国からの亡命者の亡命先となった。

この亡命者受け入れの際、アメリカ軍の上官を匿っていると、南米問題が発生。90年後に日本軍が南米に侵攻する原因となる。

次に東アジア。

東アジアは大日本帝国が東シベリアと中華民国沿岸地域を。

ジャパリパークが海南島を支配することとなった。

ソ連については解体され、ウクライナ国家弁務官統治区域、ベロルシア国家弁務官統治区域、バルト国家弁務官統治区域がドイツの傀儡として独立。

残りは日本傀儡の東シベリア連邦、アムール沿海共和国として独立した。

次に欧州。

欧州は全土がドイツの支配下となった。

そして、ドイツ自身も国名を大ゲルマン帝国に変更。

アドルフ・ヒトラーが初代皇帝に就任した。

しかし、フランスの極左暴力集団・フランス労働者戦線・やイギリスの極左暴力集団・グレートブリテンIIプロレタリア革命軍・の爆弾闘争に悩まされることとなる。

次にアフリカ。

アフリカでは、仏領西アフリカをイタリアに編入。

南アフリカは南アフリカ国家連邦として独立した。

マダガスカルはジャパリパーク植民地・ジャパリパーク領南アフリカ・とされ、初代総督には陸軍中將であった遠坂萌が就任した。

このような内容で第二次世界大戦の講和条約・ベルリン条約・が締結された。

この大きな領土再編は民族問題を複雑化させ、その後も戦乱の世は続くのであった。